

Press Release

報道関係者各位

平成 23 年 9 月 14 日

株式会社ユビテック

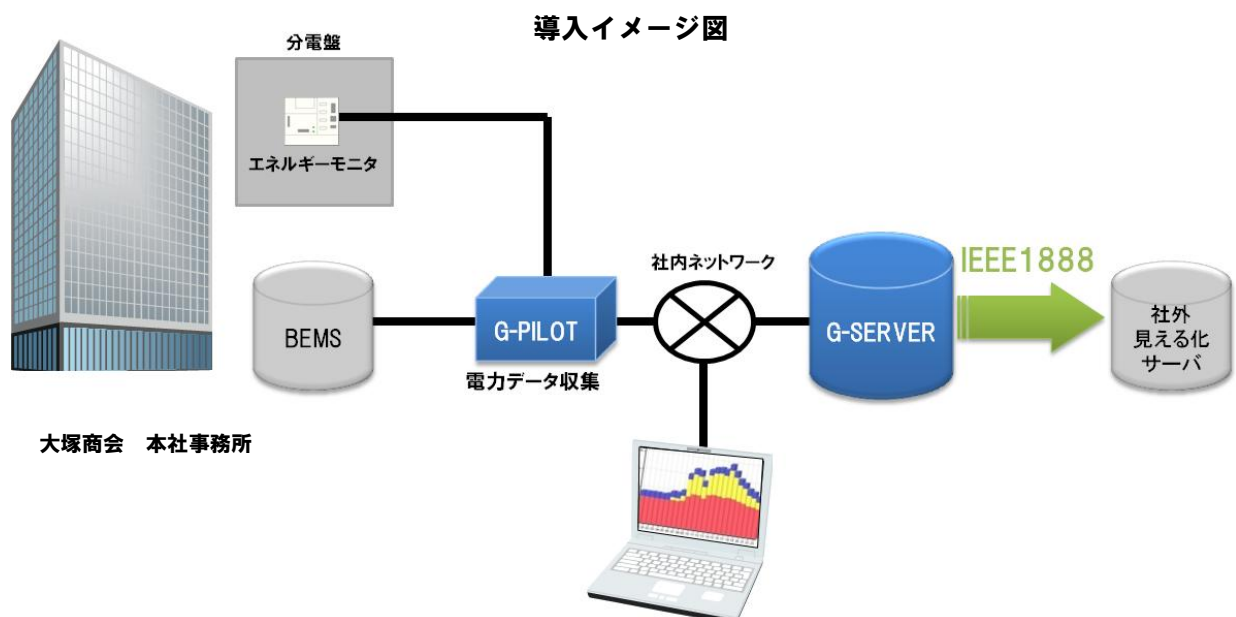
(JASDAQ コード:6662)

## 大塚商会本社に「Ubiteq Green Service」を導入 ～国際標準規格 IEEE1888 でスマートビルを実現～

ユビキタスプラットフォーム事業の創生を目指す株式会社ユビテック(東京都品川区、代表取締役社長: 荻野 司、以下「ユビテック」)の省エネソリューション「Ubiteq Green Service」(以下、UGS)が株式会社大塚商会(東京都千代田区、代表取締役社長: 大塚 裕司、以下「大塚商会」)の本社事務所に採用、導入されました。

大塚商会は、環境分野におけるソリューション商品を拡充する一環として、民間企業としては世界初となる、国際標準通信規格 IEEE1888(※1)を利用した電力可視化ソリューションを大塚商会本社事務所に構築しました。そのソリューションを活用して本社のスマートビル化を図るために、ユビテックの UGS を導入していただきました。UGS の導入により、社内向けに消費電力量を見える化しただけではなく、電力データの受け渡しを IEEE1888 経由で行い、社外の見える化サーバとも連携させたことにより社外からも電力使用状況を確認することが可能となっています。また、従来 BEMS(※2)で計測していた消費電力量に加えて、BEMSでは計測していなかった機器等の電力量を UGS で計測できるようにしたことにより、ビル全体の詳細な電力量も見える化することが可能になりました。

大塚商会およびユビテックは共に東大グリーンICTプロジェクト(※3)(代表:江崎 浩)に参画しており、プロジェクトの成果をファシリティマネジメントシステムとして普及させることを目的として、この度の電力可視化ソリューションの実現に至りました。今後、IT による設備の自動制御や、本社だけではなく支社も合わせた多拠点の統合管理など、スマートビルにすべく更に発展させていく予定です。



尚、今回導入された、電力可視化ソリューションは大塚商会オフィスツアーで紹介されています。  
また、下記展示会でもUGSをご紹介いたしますので是非ご確認ください。

■「ビジネスソリューションフェア 2011」(大塚商会主催)

1) 東京 2011年9月15日(木)・16(金) 東京国際フォーラム

<http://event.otsuka-shokai.co.jp/11/b/tokyo/>

2) 大阪 2011年10月12日(水)・13日(木) ウェスティンホテル大阪

<http://event.otsuka-shokai.co.jp/11/b/osaka/>

3) 名古屋 2011年10月18日(火)・19日(水) 愛知県産業労働センター 『ウインクあいち』

<http://event.otsuka-shokai.co.jp/11/b/chubu/>

4) 京都 2011年11月9日(水) ホテルグランヴィア京都

HP 準備中

■「Autodesk University Japan 2011」(オートデスク株式会社主催) の大塚商会ブース

2011年9月15日[木] 9:00~18:00 ロイヤルパークホテル(水天宮)

<http://www.myautodesk.jp/auj11/exhibition.html#otsuka>

引き続きユビテックでは、環境保全に向けITの持つ可能性を追求しながら、省エネソリューション「Ubiteq Green Service」の更なる機能向上のための開発を積極的に進めてまいります。

※1:IEEE1888

2011年2月に標準化されたスマートグリッド向けの国際標準通信規格。従来の設備ネットワークでゲートウェイとして機能していた部分のみならず、データを蓄積させるための機器(Storage)やデータ加工およびユーザとのインタラクションを行う機器(APP)も、すべて相互接続可能な部品として扱うことを可能にする。

※2:BEMS

Building and Energy Management System の略で、ビル管理システムのことを指す。ビルの機器・設備等の運転管理によってエネルギー消費量の削減を図るためのシステムのこと。

※3:東大グリーン ICT プロジェクト(代表:江崎浩, <http://www.gutp.jp/> )

国立大学法人東京大学(総長:濱田 純一、以下東京大学)が、2008年6月9日に大学院情報理工学系研究科の江崎浩教授を代表として、IPv6 普及・高度化推進協議会と協力して発足させたグリーン東大工学部プロジェクトを2010年4月1日に全学の活動として再組織した。東京大学本郷地区の工学部新2号館(2005年竣工 地上12階 総合研究教育棟)をモデル的な舞台として、個別に運用管理されていた施設の設備制御管理システムを相互接続し、投入・配送・消費エネルギーの状況を収集・可視化し、ITによる省エネとIT環境自身の省エネの両立を実証する。技術規格標準化関連団体、建設会社、建築設計事務所、ハードウェア・ソフトウェアベンダ、インテグレータ、通信事業者などファシリティーの企画・設計・構築・運用に関連する関連組織からの参加の下、データ取得方法・表現形式などの標準化やファシリティーの運用管理効率の向上などをはじめとして、省エネ実現のモデルケース確立などに取り組んでいる。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社ユビテック 担当: 管理本部 総務課  
電話: 03-5487-5560 FAX: 03-5487-5561